

涸沢馬蹄形縦走(前穂高北尾根～北穂高岳)

報告者：N.N

期 日：2015 (H27) 年 8 月 15 日

メンバー：I.Y, N.N

〈コースタイム〉

涸沢テン場 4 : 45－北尾根 5.6 コル 5 : 40－5 峰の頭 5 : 55－前穂高岳山頂 8 : 11－紀美子平 8 : 50－奥穂高岳山頂 10 : 10－涸沢岳山頂 12 : 50－北穂高岳小屋 13 : 50－涸沢テン場 15 : 30

テント場 4 : 45 出発。軽アイゼンを付けて雪渓の左端に沿って歩き、ガレ場に行き当たったところでアイゼンを外して明瞭な踏み後を登り 5.6 コルに到着、途中何組かを追い越す。そのまま 5 峰に取り付き、ハイ松交じりのリッジ沿いを登り、4 峰の取り付きに到着。

4 峰は前日の北穂高東稜取り付きからのガレ場より簡単で、Y 組長の後についてリッジ通しに登り、頂上の大岩ピナクルを越えて 3.4 コルに到着。

3 峰取り付きに 3～4 組の順番待ち。中央ルートの支点が空くまで時間がかかりそうなので、Y 組長より「コンテで行く」と同時行動で登る指示がある。左ルートが空くのを待って、先行の単独フリー青年の後を追う形でクライミング開始。

奥又白池を眼下に見ながら、中央ルートと合流するテラスまで登り、正面チムニーを左に巻いて岩溝を登る。岩のトンネルを潜って凹状クラックを直登して頂上に抜ける。

2 峰コルへの懸垂下降は先行者が居たので、フリー青年の後を追って左の凹状をク

ライムダウンする。Y 組長曰く、「一番の核心」。

2 峰コルより 組長を追って登っているうちに頂上に 8 : 11 到着。

テン場から最速 3 時間 26 分、時間が早いので組長より「北穂高小屋のラーメンかスパゲッティを食べに行こう」との提案で、馬蹄形縦走に変更。

涸沢岳を下った所で I 氏と遭遇、その後ドームへの取り付きを過ぎた付近で A, I 両名が南陵テン場横を下山する姿を確認し、橋コールをするが聞こえず。

北穂高小屋に到着するがラーメン・スパ

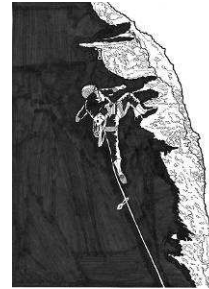


ゲッティーは時間切れ終了で食べられず、ビールで乾杯して休憩。南陵をゆっくり下山して無事テン場到着、腹減った。

橘山想会に入会して初めてのバリエーシ

ョンでしたがY組長が信頼してくださった
おかげで馬蹄形縦走が出来ました。次回も

組長よろしくお願い致します。



滝谷ドーム中央稜

報告者：T.A

期 日：2015 (H27) 年 8 月 15 日

メンバー：I,A

<コースタイム>

B.C 4：38-北穂分岐 6：28-ドーム中央稜取り付き 8：20-ドームの頭 11：30-北穂
山頂小屋 11：58-B.C 14:43

3時30分起床、この日目覚めの体調は風邪のせいであまり優れない。一旦はドーム中央稜をキャンセルして北尾根に変更するが、取り敢えず中央稜の取り付きまで行き、体調が回復していなかったら中止しようとのことでB.Cをスタートする。天気は昨日までとは打って変ったの快晴の星空、南稜を進む。やがて辺りが明るくなり始める。

涸沢の天場、北尾根、東稜が朝日に染まりとてもきれいだ。やがて真っ青な空が現れる。この頃には体調はすっかりと良くなっていた。縦走路にストックをデポしてドームを左から巻きクライムダウン、懸垂支点まで少し時間がかかるが無事見つか。さすがはIさんです。



取り付き到着、先行者10人程しばし休憩で順番待ち、日影で標高も高いので少し寒く感じIさんはインナーにダウンを着込む。やがて先行者のビレー解除の音が響く。

僕たちの登攀が始まる。Iさんリードで登る。やはりチムニールルートで鮮やかに終える。二番手A、この1ピッチはある意味一番の核心と感じた。グレードはIV級40mとそれほどではと思われるが、後半のチムニーが少し手間取る。ここを何とかクリアして2ピッチ目登攀開始、やはりIさんリード。ビレーの最中後続のパーティが上がって来た。どうやら慶応大学のパーティで二人組だ。

リードで上がって来たのが学生で、セカンドがOBのように思えた。このピッチはIV、V、A0、40mのピッチで、グレードは1ピッチ目より難しく思えるが、私的には意外に楽に抜けられた。もちろん何手かのA0はあったがクリアできた。

3ピッチ目は40m



のガレ場のリッジで、ほぼテラスに近い、これは楽にクリアして4ピッチ目に向かう。4ピッチ目はIV級 35mやはりリードはIさんだ。右手の細かい凹状フェイスからクラックを登るルートをチョイスする。後半3個程のカムが残置してあったのを記憶している。

いよいよ最終5ピッチ目の登攀だ。5ピッチ目はIV、V級の凹角に入り小ハングを

抜けるコース。何手かのA0があったが何とか登り切り、登攀終了点からドームの頭へ無事登攀を終える。

一般縦走路にクライムダウンして北穂小屋に向かう。北穂の山頂でKさんと会い、小屋で一休みのち3人で涸沢に下山。Iさんには今回色々お世話になり有難う御座いました。今度はリードで行けるよう登攀力を上げたいと思います。